

## 大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

NO.315

研究課題名	日本外傷データバンク(Japan Trauma Date Bank: JTDB)への参加
当院の研究責任者	所 属 : 救急診療科 氏 名 : 山内 聡
他の研究機関および各施設の研究責任者	特定非営利活動法人 日本外傷診療研究機構 理事長 木村昭夫
本研究の目的	日本の将来を担う若い人たちの命が外傷により奪われていることは憂慮すべき事実であり、「外傷診療の質の向上」は国益の点からも重要な課題である。しかし、外傷診療の質を向上させるためには、個人の診療技術の進歩のみならず、外傷診療に関する統計的な分析や医療機関の質の評価が不可欠であり、そのもととなる情報が我が国の現状の鏡としての有効性を保つためには、統一された全国的なデータベースでなければならない。2003年に日本救急医学会の「診療の質評価指標に関する委員会」と日本外傷学会の「Trauma Registry 検討委員会」の協力により、日本外傷データバンク(JTDB) <a href="http://www.jtcr-jatec.org/traumabank/index.htm">http://www.jtcr-jatec.org/traumabank/index.htm</a> が構築された。当センターでも2008年より当倫理委員会の承認を得てJTDBに参加し、多くの症例を登録してきた。引き続き外傷症例を登録して、集積されたデータを最大限に利用して、当施設、ひいては当地方における外傷診療の向上に役立てる必要がある。
対象者	当院に搬送された外傷患者のうち重症例、すなわち abbreviated Injury Scale3 以上の外傷を有する症例を登録対象とする。AIS とは米国医師会の Committee on medical aspects of automotive safety により作成された交通外傷患者の解剖学的重症度評価指標

	で、1971年に作成されて以来、米国の National Trauma Data Bankなどを参考に改定が繰り返されている。今日の外傷研究においては世界中で標準的に採用されているシステムである。
調査データ 該当期間	西暦2015年3月1日～西暦2020年2月29日
研究の方法	対象外傷患者のデータを、インターネット上にある日本外傷データバンクの登録サイトから登録する。
使用する試料等	登録項目：患者初期情報（年齢、性別など）、受傷機転、病院前情報（救急隊到着日時など）、病院前処置、救急隊到着時の所見（血圧、脈拍数など）、転送情報（転送理由など）、来院時情報（血圧、脈拍数など）、既往歴、検査関連情報（CT実施時間など）、治療（手術の内容など）、診断名、損傷重症度、入退院情報
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	匿名化して提供する。
個人情報の取り扱い	お名前、住所など、患者様を直接特定できる個人情報は収集しません。
本研究の資金源（利益相反）	ありません。
お問い合わせ先 （照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先）	住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 救急診療科 山内聡
備考	